



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・あさがおを育てる活動を通して、あさがおの変化や成長の様子に関心を持ち、生命を持っていることに気づくとともに、親しみを持って大切にしようとする力

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・自分が知りたい事が書かれている本を選び、必要なページを探して読み取る力

単元における学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (2時間)	○たねをまこう ・就学前の栽培経験を話したり、教科書に載っている花やたねを確認したりしながら、たねをまくために必要なことについて話し合う。 ・あさがおのたねを観察し、友だちや先生に話したり、観察カードにかいたりする。
第2次 (2時間)	○はなをそだてよう ・休み時間を使って、水やりを続けながら、成長を観察する。(常時活動) ・あさがおの世話をし、気づいたことや困ったことをペアで交流し、観察カードにかく。 ・気づいたことをもとに、あさがおの世話について図書館資料で調べる。(本時) (☆)
第3次 (1時間)	○はなのようすをつたえよう ・休み時間を使って、あさがおの世話を続けながら、成長の様子を観察する。(常時活動) ・咲いた花の数を数え、花の様子を観察カードにかくなどして、開花の喜びを伝え合う。
第4次 (3時間)	○たねをとろう ・休み時間を使って、あさがおを観察し、たねを集める。(常時活動) ・集めたたねを数えたり観察したりして、気づいたことをペアで交流し、観察カードにかく。 ・これまでにかけた観察カードや、タブレット端末で撮った写真を活用して、これまでの栽培活動をふり返る。 ・とったたねをどうするか話し合ったあと、保存袋を作成したり、プレゼントできるように包装したりする。

本時のねらい

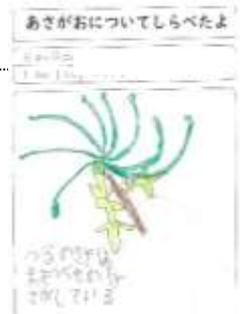
- ・あさがおの世話について、図書館資料で調べ、新しく知ったことや気づいたことをカードにかくことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. あさがおの世話をし、気づいたことをふり返る。 ・はっぱがおおくなって、きゅうくつそう。 ・うえきはちからはっぱがはみだしてきた。 ・へびみたいなつるがのびていた。 めあて：あさがおがよるこぶことをしらべて、カードにかこう	・本時のめあてが確かめられるように、提示しておく。
展開 (35分)	2. あさがおの世話の仕方について、図書館資料で調べたことをカードにかく。 ・カードのかき方を確認する。 ・気になるところには付箋をはる。 ・あさがおがよるこぶことをカードにかく。	・絵や写真が多い本をたくさん用意しておく。(23冊) ・気になるページには付箋をはって、あとで見返せるように指導する。
まとめ (5分)	3. 本時の学習をふり返る。 ・調べたことを発表し合う。	・カードをモニターに提示することで、視覚的にも情報を共有できるようにする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・子どもたちは、あさがおの成長を日々楽しみにしている。あさがおの世話について、教員から情報を伝えるだけでなく、図書館資料で調べる活動を取り入れることで、あさがおへの興味をさらに高めることができた。
- ・「世話の仕方」を調べる活動であったが、ページを広げることで、根の伸び方に気が付いたり、つるの巻き方を知ったり、花の色に着目したりと、新たな発見や興味関心につなげることができた。



本で調べたことを絵や文でカードに表した。